

R5 第2回 三ヶ日西小学校 学校運営協議会

令和5年10月26日(木)

1	開 会	13:30
2	日程説明	13:31
3	授業参観	13:35
4	会長あいさつ	14:00
5	校長あいさつ	14:05
6	熟 議 議長(酒井)	14:10
	(1) 活動状況報告	
	① ボランティア活動(CS担当:中村)	
	② 全国学力学習状況調査の結果(教務:竹内)	
	(2) 諸連絡	
7	連 絡	15:15
	・ 学校運営協議会の自己評価及び学校関係者評価	
8	閉 会	15:30

第3回学校運営協議会(兼:夢をはぐくむ学校づくり運営協議会)

日 時 令和6年2月9日(金) 13:30~15:30

内 容

- ・ 授業参観
- ・ 学校運営協議会の自己評価、学校関係者評価
- ・ 次年度の学校運営基本方針、教育課程等について

三ヶ日西小サポーター 前期の実践

1 サポーター登録者 計43人



2 実施した支援活動

1年 生活科（リース作り）、体育（水遊び）

2年 生活科（学区探検）、体育（水遊び）

3年 体育（水泳指導）総合（みかん栽培、ゼリー作り）、算数（コンパスの使い方）、
図工（かなづち使い方）

4年 体育（水泳指導）、図工（のこぎり使い方）

5年 体育（水泳指導）、家庭科（調理実習、裁縫、ミシン）、自然体験活動（荷物運び）

6年 体育（水泳指導）総合（町の歴史）、家庭科（調理実習、裁縫、ミシン）

なかよし1, 2組 野菜作り

全校 読み聞かせボランティア、バス待ち、交通ボランティア（登下校の見守り）、
外国語活動、環境整備（樹木の伐採、校内ペンキ塗り、楽器カバー、ソファカバー、
テレビカバー、ベッドカバー、保冷剤ケース作り、楽器修理）

3 ボランティアによる学校支援活動は、教育活動の充実や子どもと向き合う時間確保など、成果があったと思いますか。いずれかを○で囲んでください。（回答者27人）

① そう思う ② まあそう思う ③ あまり思わない ④ 全く思わない ⑤ 無回答
19 3 5

（利用しなかったため）

4 問い3で①②に○を付けた方のみお答えください。

見守りや支援に入ってもらって、よかったことはどんなことでしょうか。当てはまるものに○を付けてください。（複数回答可）

（11）①児童の学習内容や技能の定着の手助けとなった。

（17）②教師の目（手）が届かない部分に対応してもらうことができた。

（15）③安全が確保され、安心して学習や活動を進めることができた。

（9）④学習環境が整えられた。

（5）⑤その他

ア 専門的な知識、情報を知ることができた

イ 子供の体力が温存された（自然体験）

ウ 樹木の伐採やペンキ塗りなどの予算制限がありできなかったことへの対応

ボランティアの声（一部抜粋）

- ・いつもの参観会とは違う子供たちの様子を見ることができてよかった。
- ・素直で人懐こい子供たちから元気をもたらしている。
- ・やり甲斐を感じる。
- ・楽しく過ごせた。
- ・先生方が気さくに気持ちのよい挨拶をしてくれて、学校に入りやすい。
- ・子供たちが、読み聞かせを静かに、真剣に聞いてくれてありがたい。
- ・夏休みに学童に読み聞かせに行った際、「〇〇を読んでもくれたおばさんだ。」と、3年生の子が声をかけてくれて、とてもうれしかった。
- ・お手伝いする内容は事前に聞いて分かっていたが、授業前に担当の先生から特に指示がなく、「これでいいのかな…」と迷いながら、自分なりに子供たちの手助けをした。
- ・物づくりの支援の際、どの程度手伝ったらいいのか、悩んだ。
- ・いろいろな子がいて、先生が一人で対応するのは大変だな、と感じた。
- ・欠席していた児童への個別指導ができ、みんなの進度に追いつけてよかった。
- ・バス待ちの子供たちは挨拶ができていい感じ。ビデオを用意してもらったことがありがたかった。ボランティアが10人くらいいれば、2人体制で目が行き届くのだが。
- ・安全を見守ることはできるが、名前も覚えられない子全員を一人一人確実に送り出せるかは不安。



希望の丘



毎日の様子はブログ配信中 ※三ヶ日西小学校ブログをご覧ください。

～6年「地域散策」より～

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果を受けて

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるものです。

本校でも、6年生が4月上旬に取り組みました。結果を基に成果や課題を分析し、今後の指導方法の工夫改善について共通理解を図っていきます。

なお、6年生の保護者の皆様には、「調査結果の個票」と「問題用紙」をお返します。お子さんと一緒に内容を御確認いただき、身に付いているところと課題になっているところを把握していただけるとありがたいです。

「国語」 本校の平均正答率は、全国平均をやや上回っていた。



【成果】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力が伸びている。
- 目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付ける力が伸びている。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力が伸びている。

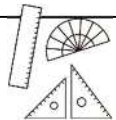
【課題】

- 日常よく使われる敬語を理解することに課題がある。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることに課題がある。
- 文章や図表を見て分析し、必要な情報を選択しながら自分の考えをまとめ、文章で書き表すことに課題がある。

【課題への対策】

- ☆ 敬語や適切な言葉の使い方について、日々の生活の中において意識を高めるような声掛けをしたり、授業において積極的に取り扱ったりするなどして、敬語や適切な言葉の使い方についての定着を図ります。
- ☆ 子供同士が対話し、関わり合う授業に積極的に取り組み、自分の考えを表現したり、友達の考えを理解しようとして聞いたりする活動の充実を図ります。
- ☆ 図表やグラフから読み取ったことを書き表したり、学習課題を自分事として捉え自分の考えや伝えたいことを文章に表したりする機会を増やします。

「算数」 本校の平均正答率は、全国平均をやや下回っていた。



【成果】

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする力が伸びている。
- 図形の意味や性質について理解する力が伸びている。
- 百分率で表された割合について理解する力が伸びている。

【課題】

- 伴って二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がある。
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件にあてはまるかどうかを判断することに課題がある。
(裏面に続きます)

【課題への対策】

- ☆ 具体物を操作する活動と、考えたり説明したりする活動を結び付ける場面を充実させることで、確かな理解につなげていきます。
- ☆ 発達段階に応じて、ノートに友達の考えを写すだけでなく、友達の考えに対しての自分の考えを書くように投げ掛けます。
- ☆ 「事実」「方法」「理由」など、何をどのように説明するのかを明確にした問い掛けをすることで、説明したり発表したりする機会を充実させます。
- ☆ なぜその式になるのかを言葉、図、数などを使って説明する、友達の考えを自分の言葉で説明する、式に表された数の意味を場面にそって説明する、計算して出した答えは場面に戻って考えるとどういう意味なのかを説明するといった言語活動を充実させます。

「児童質問紙の結果」

【よい表れ】(全国平均と比べ数値が高かった主な項目)

- 将来の夢や目標をもっている。
- 自分には良い所がある。
- 先生は良い所を認めてくれている。
- 朝食を毎日食べている。
- 地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うことがある。
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。



【課題となる表れ】(全国平均と比べ数値が低かった主な項目)

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- 人が困っているときは進んで助けている。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 友達関係に満足している。
- 家で自分で計画を立てて勉強している。
- 学校の授業時間以外に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強しているか。(学習塾、家庭教師、インターネットで学ぶ時間も含む)
- 読書が好きである。
- 国語・算数の勉強が好きである。国語・算数の授業の内容はよく分かる。

今回の調査では、国語の正答率が全国平均をやや上回りました。算数の正答率も全国平均をやや下回ったとは言え、計算の順序やきまり、図形の性質、百分率等の問題では全国平均を上回っています。そして、将来の夢や目標を明確にもち、自分あるいは自分たちで決めた目標に向かって努力している子供たちの姿が明らかになりました。また、一昨年度、昨年度と同様に、地域・家庭が子供たちの育ちをしっかりと支えてくださっていることを再確認できました。本当にありがとうございます。

一方で、前回の学校だよりでお伝えした通り、生活の中で幸せな気持ちを感じる事が少ない、人が困っているときに進んで助ける事が十分にできていない、学校に楽しく通う事ができていない、友達関係に満足していないといった姿、学習においても計画的に勉強に取り組む事ができていないなどの姿が明らかになりました。これらの課題を受けて、現在、各学年において自分で計画を立て学習していく力を付けるための取り組みを始めています。また、子供たち一人一人が幸せを感じる事ができるためには何ができるかを考え、2学期の教育活動の充実を図っています。今後も、学校教育目標「めあてに向かって自分を高める」のさらなる充実を図りながら、自己肯定感に基づくよりよい人格形成、困難に立ち向かうたくましさや確かな資質・能力の育成、そして、何より、「学校が楽しい、学ぶことが楽しい」「毎日が幸せだな」と感じられる学校づくりを目指してまいります。

引き続き、本校の教育への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

(文責 竹内 淳)

令和5年4月28日

浜松市立三ヶ日西小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 鈴木 栄男 様

浜松市立三ヶ日西小学校運営協議会
会長 河合 茂典

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和5年4月27日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 地域への愛着と誇りを高めるために、本校3年生の総合的な学習の時間で取り組んでいる「みかん学習(地域学習)」を継続していく。

⇒ 「みかん学習(地域学習)」にて地域住民に講師を依頼する。

- ② 思いやりの気持ちを育て、自他の命を大切にすることを推進する。

⇒ 助産師を講師に招いた「いのちの授業」を継続する。(1・6年)

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

- 学校運営の基本方針に沿った取り組みを進めるため、さらに熟議を深めると共に、学校との協働体制を強化していく。
- 創立150周年記念事業についても、学校と連携を図りながら協力をしていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

--